

定山溪観光魅力アップ構想（案）

に対する市民意見の概要と札幌市の考え方

平成 27 年 1 月 13 日に定山溪観光魅力アップ構想（案）を公表し、同日から 2 月 12 日までの 31 日間、パブリックコメントにより意見を募集し、55 件のご意見が寄せられました。

1 意見の内訳

(1) 意見提出者数及び意見数

ア 意見提出者数	15 人
イ 意見数	55 件

(2) 提出媒体別意見提出者数

ア ファクス	4 人 (26.7%)
イ 電子メール	2 人 (13.3%)
ウ 札幌市公式ホームページ	7 人 (46.7%)
エ 電話	2 人 (13.3%)

(3) 項目別意見数

ア 対象エリアに関すること	1 件 (1.8%)
イ 現状と課題に関すること	1 件 (1.8%)
ウ 基本的な考え方に関すること	2 件 (3.6%)
エ 個別の施策に関すること	45 件 (81.8%)
オ 推進体制に関すること	1 件 (1.8%)
カ その他	5 件 (9.1%)

2 意見の概要と本市の考え方

「第 1 章 3 対象エリア（2 ページ）」に関すること

No.	意見の概要	市の考え方
1	八剣山を含めるのであれば、豊滝も含めるべき。	対象エリアには豊滝も含めておりますが、不明確だったため、第 1 章の 3 と第 5 章の基本方針の展開図（定山溪エリア）の地図を修正するとともに、第 1 章の 3 に豊滝という文言を追加して、明確化します。

「第 3 章（13 ページ～27 ページ）」に関すること

No.	意見の概要	市の考え方
2	老若男女が楽しめるさまざまなアクティビテ	第 3 章の 3 のとおり、カヌー、ラフティング、パ

No.	意見の概要	市の考え方
	イはない。	ークゴルフ、登山、乗馬、スキー、スノーボード、そり滑り、スノーシュー、果物狩り、ジャム作り等、さまざまなアクティビティがあると考えております。

「第4章 2 将来像の実現に向けた基本的な考え方 (29 ページ)」に関すること

No.	意見の概要	市の考え方
3	奥座敷なんてもう古い。	古い奥座敷というイメージから脱却し、本来の癒しやおもてなしの考え方を大事にしつつ、新しい魅力や価値を高めたいとの意味を込めて、第4章2のとおり「新・奥座敷へ」と表現しております。
4	高齢化なのに「+α」やアクティビティ施設を打ち出すのか。	第3章の3のとおり、定山溪には幅広い年代が楽しめる魅力があり、これらをさらに磨き上げるとともに、情報発信していく必要があると考えております。

「第5章 基本方針1 (32 ページ～33 ページ)」に関すること

No.	意見の概要	市の考え方
5	お客さんが来て遊んで帰る所が少ないので、二見公園や三笠緑地(パークゴルフ場)等、現在ある所をもう少しきれいにしなければならない。	ご意見のとおり、既存の施設の老朽化が進んでおりますので、第5章の基本方針1に基づいて、既存の施設の改修や再整備を実施していきます。
6	散策路及び定山源泉公園等の施設周辺に雑草が生えているなど、手入れが悪く魅力に乏しい。	その点が課題であると認識しておりますので、第5章の基本方針1のとおり維持管理や改修等を実施していきます。
7	定山溪には長い歴史があるため、歴史を活用するとよい。また、今後の発展のため、新しい技術を取り入れることも重要。	第5章の基本方針1の方向性1や基本方針2の方向性3をはじめとして、定山溪の歴史を活用した取組を行っていきます。新しい技術については、今後の施策の検討・実施の際に参考にさせていただきます。
8	市が用地を確保し、広い駐車場と農産物直売所を併設した道の駅を設置することを明記してほしい。	スポーツ公園にある駐車場を活用した集客交流拠点施設の整備と、整備に向けた基本計画の策定を明記しております。施設の機能については、基本計画の検討の中で整理する予定ですが、駐車場は必須と考えており、農産物直売所を含む物販機能についても検討が必要と考えております。
9	本州の国立公園の入口にはたいいネイチャーセンターがある。今回の事業の中で何か施設	ネイチャーセンター機能については、スポーツ公園にある駐車場を活用した集客交流拠点施設等の

No.	意見の概要	市の考え方
	<p>を作る計画があれば、そこに定山溪の自然の美しさや環境保全を PR できるコーナーを作っしてほしい。その場を情報発信や保全活動、環境ガイド活動等の拠点としても利用できるとよい。</p>	<p>整備に向けた基本計画策定の際に検討を行います。両ダムとの連携は現在も行っていますが、引き続き実施していくとともに、その他の点についても、今後の施策の検討・実施の際に参考にさせていただきます。</p>
10	<p>定山溪の豊かな自然と支笏洞爺国立公園のすばらしさを学習できるネイチャーセンターの設置を希望する。あわせて、定山溪ダムや豊平峡ダムと連携し、ネイチャースクールの開設と、それに伴うツアーを旅行会社と共に作成するなどの活動を希望する。</p>	
11	<p>共同浴場や道の駅の建設に賛成である。魅力あるものをつくってほしい。</p>	<p>スポーツ公園にある駐車場を活用した集客交流拠点施設の整備を行います。共同浴場の実現には課題も多いため、集客交流拠点施設を核とする各種施設整備に向けた基本計画策定の際に検討を行います。</p>
12	<p>朝日岳にロープウェイまたはゴンドラを設置する。乗り場はスポーツ公園または国道 230 号線にあるトイレ向かいの土地を活用する。</p>	<p>採算性等の面で課題があると考えますが、今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。</p>
13	<p>心の里定山「森の別邸」のような施設は定山溪各ホテルが団結し、「源泉公園」等と併設することによって「癒し効果」「定山溪の魅力」が倍増すると思う。</p>	<p>今後の施設整備の際には、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
14	<p>和の雰囲気は本州の温泉には負ける。</p>	<p>多くの外国人が定山溪を訪れておりますが、今後もさらに多くの方に来ていただくには、「和風」の考え方は外せないものと考えております。和の雰囲気だけで他の温泉地と競うのではなく、雪や紅葉、食等も含めた総合的な魅力を高めていくべきと考えております。</p>
15	<p>新規出店（飲食店、旅館業）の支援を行うべき。</p>	<p>第 5 章の基本方針 1 の方向性 3 のとおり、店舗の誘致促進に取り組んでいきます。</p>
16	<p>温泉シーズン券、年間湯巡りパスポートの販売を行う。</p>	<p>第 5 章の基本方針 1 の方向性 3 の実施の際に、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
17	<p>店がなく定山溪自然の村でのキャンプの食材購入等の買い物が不便であり、大手スーパーとの提携・出店に取り組んでほしい。また、有名ラーメン店等飲食店を出店する。</p>	
18	<p>定山溪ぶらり手形を各ホテルにも常時設置に改善。さらに宿泊施設を含む近くの 2～3 箇所の温泉を利用できる手形を新設する。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方
19	施設散策路に時間限定でガイドをつけてはどうか。	第5章の基本方針1の方向性3や基本方針4の実施の際に、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

「第5章 基本方針2 (34 ページ~35 ページ)」に関すること

No.	意見の概要	市の考え方
20	三笠緑地のパークゴルフ場より上の斜面の25万株ほどのカタクリ等の春植物の大群落について、看板や柵、飛び石を設置するなどの整備をする。	三笠緑地については、第5章の基本方針2の方向性1のとおり、活用できる観光資源であると認識しており、今後の整備・活用についてはいただいたご意見を参考に検討してまいります。
21	三笠山を有効利用すべき。例えば、滝野のように簡易リフトを整備してそりチューブ滑りを実施したり、クロスカントリースキーの貸出とクロスカントリーコースを整備したり、パークゴルフ場を改修し市民大会を開催したり、ラグビーチームとの交流イベントを企画したり、札幌オリンピックを見すえ、そりコースを作ったりしてはどうか。	今年の1月に「定山溪雪三舞(ゆきざんまい)」というイベントを開催し、チューブすべり等を行いました。第5章の基本方針2の方向性1のとおり、三笠緑地を活用していこうと考えておりますが、いただいたご意見を踏まえて検討させていただきます。
22	三笠緑地に温泉を利用した熱帯植物園を造成する。さらにパークゴルフ場の整備をし、各ホテルと連携し格安で日帰り入浴と両方楽しめるようにする。	熱帯植物園の造成については、課題も多いと考えますが、その他の点も含めて、第5章の基本方針2の方向性1の実施の際に、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
23	定山溪自然の村から豊平峡ダム用道路までの遊歩道は、一般に開放されておらず整備もされていないことから、数年先には廃道になる可能性もあるが、周辺に貴重な動植物が生息しており、観光及び教育資源になりうるため、整備して開放すべき。	林野庁北海道森林管理局が所管しておりますが、ご意見を伝えるとともに、必要に応じて連携を行ってまいります。
24	定山溪を拠点とした周辺日帰り観光(積丹、小樽、ニセコ、支笏湖、早来(馬)、岩見沢、石狩、札幌)。朝里 IC はすぐそこである。	定山溪を拠点に周辺を観光していただくことは重要だと考えます。今後の施策の検討・実施の際に参考にさせていただきます。
25	定山溪地区だけでなく、小金湯、豊滝、砥山、簾舞、藤野、石山を含めて230号沿線の観光を考えるべき。豊滝の道路情報館を地域観光の情報発信、道の駅機能を持ったものに作り変えてはどうか。豊平川上流域は、地形、地質の見どころが多い。発掘地点近傍でのクジラやサッポロカイギュウの化石のレプリカ展示やアイヌ	本構想では小金湯、豊滝、砥山を含めた広域的な観光エリアを「定山溪」と表現しており、エリア内での魅力アップはもちろん、南区の観光施設等と連携して南区全体の観光魅力アップに取り組みます。いただいたご意見は今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。

No.	意見の概要	市の考え方
	文化交流センターとの連携を実施してはどうか。	
26	豊平峡ダムと豊平峡温泉の料金の連携はあるが、定山溪各ホテルとの料金連携がない。	豊平峡ダムの電気バスと定山溪各ホテルの日帰り入浴とのお得なセットプランはありますが、今後も連携を検討していきます。
27	今後小金湯地区で「さくらの森」が開園するが、併せて定山溪ダム、フルーツ街道、新緑の滝等の施設を巡るコミュニティバスを運行させる。	採算性等の面で課題があると考えますが、第5章の基本方針2の方向性2の検討の際に、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
28	北海道道95号京極定山溪線の京極町までの未開通区間を開通させることを明記してほしい。札幌市にとって災害時の迂回ルート確保にも必要なルートである。	現時点では、京極定山溪線の未開通区間の事業予定はないため、構想に明記することはできませんが、ご意見については今後の検討の参考にさせていただきます。
29	西区平和を起点に定山溪温泉を終点とする新たな観光道路の整備が必要。	<p>定山溪観光の魅力を高めるために、札幌中心部や広域の観光地とのアクセス性を向上して、札幌圏全体の観光周遊機能を強化することは重要な視点であると考えております。</p> <p>このため札幌市では、国や北海道と連携しながら、国道230号の4車線化・国道230号と並行する市道の整備・定山溪温泉と朝里川温泉を結ぶ道道小樽定山溪線の改良等を行い、交通アクセス機能や都市防災機能の向上に取り組んできております。</p> <p>これらの既存道路を活用して国道230号沿線の観光資源等との回遊性を向上し、定山溪観光の魅力アップを図ってまいります。</p>
30	空港からのバスの増便を行う。	平成26年度から減便されたところで、採算性等の面で課題があると考えますが、今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
31	交通費（バス料金）が高い。かっぱライナーの料金を格安に、また予約がなくても利用できるように改善すべき。お年寄りやホームページを見ない人がいると思うのでもっと宣伝すべき。	バス運賃の設定はバス事業者が行っているものですが、ご意見を伝えるとともに、第5章の基本方針2の方向性3の実施の際に、いただいたご意見を参考にさせていただきます。なお、かっぱライナーは満席でない限り、予約なしでもご利用いただけます。
32	これまでのイベントはそれぞれ工夫して頑張っているため、PRをさらに工夫する。	第5章の基本方針2の方向性4や基本方針3に基づき実施していきます。

「第5章 基本方針3 (36 ページ~37 ページ)」に関すること

No.	意見の概要	市の考え方
33	ファイターズ・コンサドーレ・レバンガ等のプロチーム・選手の活用（番組による宣伝、空き別荘地の提供等）	第5章の基本方針3の方向性1、2を推進するにあたり、いただいたご意見は今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
34	大手旅行サイトとの連携によりお得な宿泊プランの販売を行う。	需要喚起策の1つとして考えられる方法ですので、今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
35	紅葉が素晴らしいので、秋ならではの料理&温泉プランを用意するとよい。	個々の宿泊施設では既に実施していますが、今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
36	地元食材・果物を定山溪小・中学生が札幌駅や大通、デパート等で販売活動・PRを行う。	果物等の地元食材を生かす観点は重要と考えております。いただいたご意見は今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
37	登山道の整備、PRを行う。	登山道は林野庁北海道森林管理局が所管しておりますが、ご意見を伝えるとともに、必要に応じて連携を行っていきます。また、PRについては、平成24年に作成したリーフレットを活用するなどして実施しておりますが、今後も行っていきます。
38	到着後のサポートについて、結局は車が無ければ何もできず暇である。	第5章の基本方針1のとおり、温泉街の魅力を高めるとともに、基本方針3の3のとおり、到着後のサポートの強化を行います。

「第5章 基本方針4 (38 ページ~39 ページ)」に関すること

No.	意見の概要	市の考え方
39	日帰り入浴客に対して、入館時は挨拶があるが、帰りは感謝の言葉があまりない。帰る時点の見極めが難しいと思うが客の動向をそれとなく見ればわかると思う。	一般社団法人定山溪観光協会及び定山溪温泉旅館組合にご意見をお伝えいたします。
40	学校行事における利用を促進すべき。例えば、市内小学生のピリカコタン見学の必修化や、中学1年における定山溪での体験学習（ホテルでのおもてなしを学ぶ、定山溪自然の村炊事）、市外中学校、高校の修学旅行等やスキー学習の誘致を行う。	学校行事での利用促進にあたっては、費用負担や受入体制等、多くの課題がありますが、第5章の基本方針4の方向性2のとおり、市内の児童生徒、教員を対象とした体験学習を推進することとしており、実施の際に、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
41	地元（市民、さらに定山溪近郊）住民に対するサービスを拡充し、足を運んでもらう。	第5章の基本方針3の方向性2及び基本方針4の実施の際に、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

その他個別施策に関すること

No.	意見の概要	市の考え方
42	価格に魅力がないので、定山溪でしか体験できないものがなければ、わざわざ僻地である定山溪に行くインセンティブは低い。新潟県妙高市の事例のようにエビの養殖をするなどで、新しいブランドを作ることも必要。	定山溪が多くの方に利用されているのは、手ごろな価格が支持されている面もあると思いますが、新しいブランドを作ることは定山溪の魅力を高めることにつながると考えます。いただいたご意見は今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
43	北海道は日本の食糧基地、札幌は日本の北都。もっと自信を持って徹底的に「食」「美しい自然」にこだわってどうか。安全・安心・健康の「食」である。	「食」や「美しい自然」は定山溪の強みだと考えます。今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
44	温泉水をもっと健康増進に活用するメニューを考える。成人病予防、高齢者や障害者・スポーツアスリートのリハビリ、女性の美容等。そのためには欧米の温泉施設を研究し日本流にアレンジすることが必要。	健康増進は重要な考え方だと考えます。今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
45	政府は「地方再生」「観光」「スポーツ」に力を入れようとしている。札幌市も冬季オリンピック誘致にエントリーしようとしているが、真駒内のオリンピック施設や市内のスポーツ施設はもとより周辺市町村のスポーツ施設とのコラボレーションでスポーツ合宿の誘致等も視野に入れてはどうか。	スポーツ合宿の誘致は可能性のある分野だと考えます。今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
46	4車線化の工事にかかなり時間がかかっている。冬の工事は能率のよいものではないので、夏期間に集中させてほしい。	国道230号の拡幅を所管する北海道開発局へご意見をお伝えいたします。
47	札幌駅、真駒内駅からスクールバスを運行し、森林教育やフィールドワーク、少人数指導、歯の健康等、特色ある教育をしている定山溪小・中学校に通ってもらう。	多く子どもたちに定山溪の魅力を知ってもらい、愛着を持ってもらうことは大切なことと考えております。いただいたご意見は今後の施策の検討・実施の中で参考にさせていただきます。
48	定山溪振興宝くじを販売する。	宝くじは、発売経費の抑制と、多くの収益を確保するため、全国規模で共同発行しており、その収益金は、公共事業や災害対策等、幅広く役立てられています。このような実情により、特定地域の振興を目的として発売することは考えておりませんが、いただいたご意見は今後の施策の検討の中で参考にさせていただきます。
49	入湯税を有効利用する。	入湯税は、地方税法に基づき、主に市内の消防施設と観光施設及び観光振興に要する経費の財源と

No.	意見の概要	市の考え方
		して利用しております。今後も観光振興を行うにあたり、財源として有効利用してまいります。

「第6章 1 推進体制（42ページ）」に関すること

No.	意見の概要	市の考え方
50	全般的に定山溪温泉街（地区）として一致協力体制の色が薄い。各ホテル等が独自路線を進めることも必要だが、まずは、定山溪に来てもらう魅力を。	第3章の4の(2)の10のとおり、近年では、定山溪全体での取組が進められ、ホテル・旅館同士の連携が図られてきていますが、これまで以上に一致協力して取り組んでいけるよう、本市としても働きかけを行ってまいります。

その他

No.	意見の概要	市の考え方
51	定山溪は断念し、伸び代のある「さとらんど」や「モエレ沼公園」「藻岩山」等の観光資産に力を注いだほうがよい。	上位計画である「札幌市観光まちづくりプラン」において、「定山溪エリア」は「藻岩地区」、「モエレ・さとらんど地区」等とともに、札幌の特性を生かした集客交流拠点として位置づけております。都市に隣接する温泉観光地として、魅力を高めることにより、さらなる集客力の向上が図られると考えます。
52	わざわざ外来語を用いるのは何故か。「定山溪観光魅力アップ構想」ではなく「定山溪観光魅力向上構想」にしてほしい。	外来語等のカタカナ言葉の使用にあたっては、世代を問わず広く理解されるかどうかには留意しております。「魅力アップ」の表現については、市民にわかりやすく親しみやすいものと判断したのですが、安易に外来語を使用することのないよう、今後の基本計画等の策定の際にも留意いたします。
53	メリットが構想内に示されていないために理解できず、市民が適切に評価できない。 投入する人件費や資金に見合うメリットがあるとは到底考えにくい。 貨幣価値に換算した価額を示してほしい。	定山溪の約120万人の宿泊者と約37万人の日帰り客の利用による入湯税収入は年間約2億円で、それ以外にも法人や従業者の市民税等の税金があり、この増減は、本市への直接的な財政効果だけでも大きな影響があります。また、多くの雇用や経済効果を生み出し、市民のレクリエーション・健康保養の場ともなっており、定山溪の振興は大きなメリットがあると考えています。なお、個々の事業を実施するには、必要に応じて費用対効果について検証を行います。

No.	意見の概要	市の考え方
54	この構想は官民一体となつての、計画、実行なのか。運営や維持管理はどうするのか。継続できるのか。市はパン屋やカフェの誘致までするのか。	第6章の1や「資料編 定山溪観光魅力アップ構想の実施主体及び展開スケジュール」のとおり、札幌市と地域が役割分担しながら、連携して進めていきます。運営や維持管理は所有者が行いつつ、場合によっては札幌市が一部補助を行うこととしており、店舗の誘致は札幌市も地域と連携しながら進めていきます。
55	検討会議の委員には、定山溪に思いのあるもっと高齢の世代も入れるべき。	幅広い意見を取り入れる趣旨から、検討会議の委員には幅広い年代の委員を選定しております。

